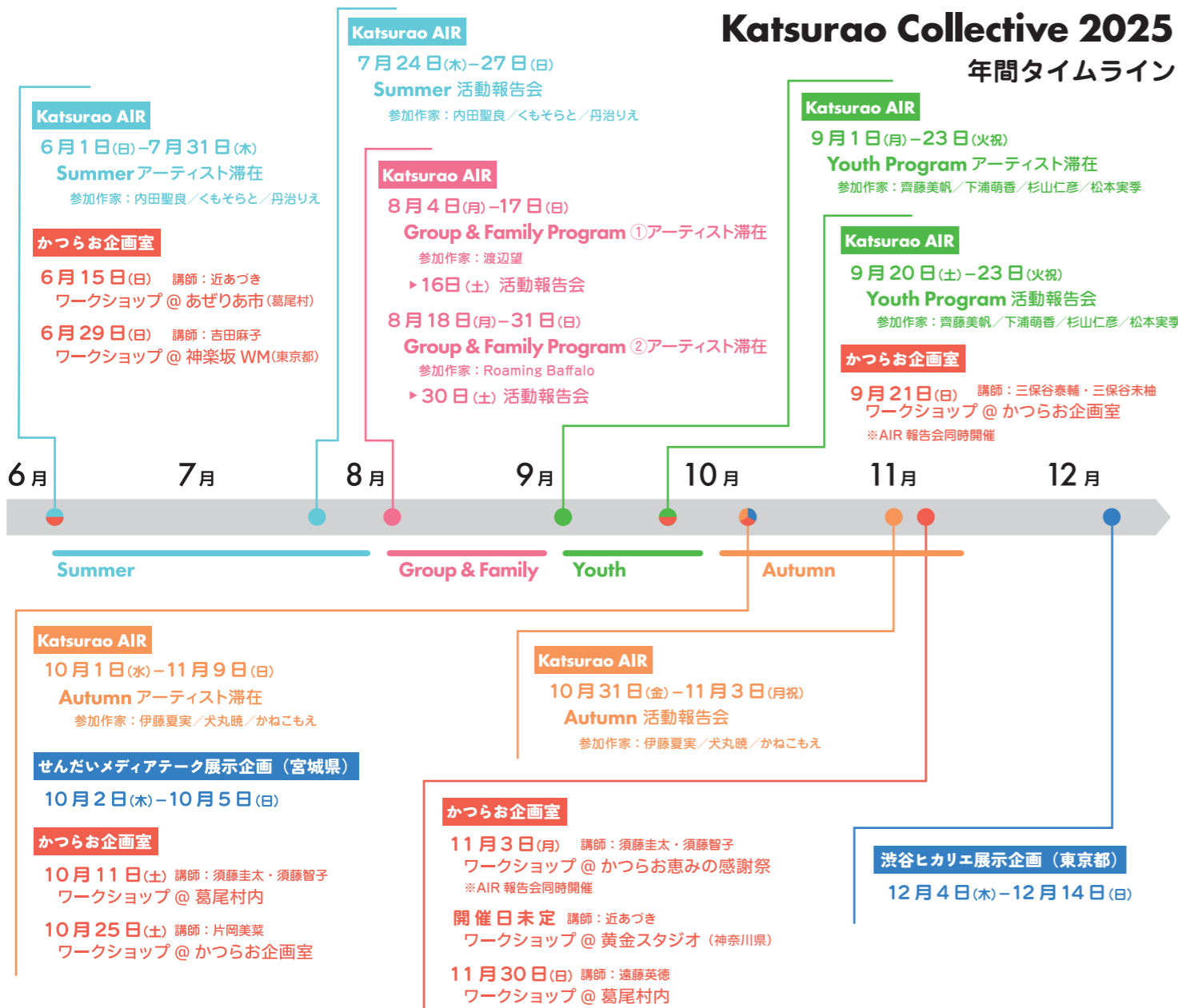


Katsurao Collective 2025

年間タイムライン



各プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。詳細や最新情報は随時、公式サイト・SNS 等にて発表いたします。



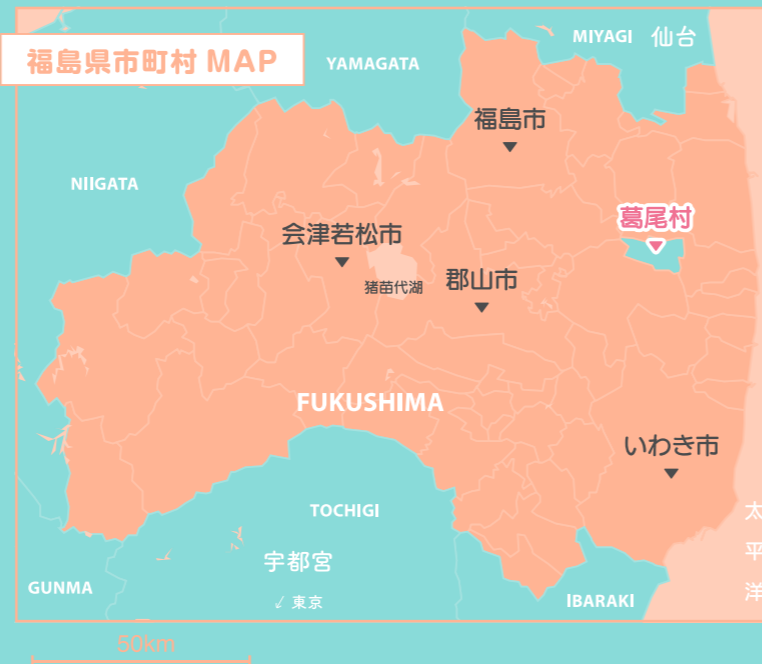
【運営企画・お問い合わせ】



アートと社会との接点が深まる現代において、“アーティスト・コレクティブ”※の存在はますます重要になってきています。コレクティブという枠組みは、アート活動を個人主義的な創作活動の枠から解き放ち、より多様でフレキシブルなアートの形を社会へと提示します。Katsurao Collective は、多様な価値観を持つ人々が、ともに活動を生み出すことを目指すプロジェクト名であり、創造性という価値でつながる共同体の名前でもあります。

※共通の目標を達成するために活動するアーティストによって形成された集団

Email : office@katsurao-collective.com
 Web : <http://katsurao-collective.com> →
 ← Instagram : [katsuraocollective](https://www.instagram.com/katsuraocollective)



主な拠点：Katsurao Collective 事務局 福島県双葉郡葛尾村落合菅ノ又14-2 葛尾村立葛尾中学校校舎内

主催 葛尾村、一般社団法人葛力創造舎 ※本事業は葛尾村より「令和7年度葛尾村アーティスト移住・定住促進事業」を一般社団法人葛力創造舎が委託され実施しています。



AIR_Summer

内田 聖良

UCHIDA Seira

撮影：小山田邦哉
写真提供：青森公立大学国際芸術センター青森



北海道在住。武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業、情報科学芸術大学院大学（IAMAS）修了。生活と文化の結びつきや、市民が発揮する創造性に興味を持ち、技術が発展した現代社会の生活と、そうした創造性や精神性とを結びつける試みを行う。近年は民話や信仰のリサーチをもとに、それらが持つケアの機能や規範の生成への関与について着目した制作を行っている。

AIR_Autumn

伊藤 夏実

ITO Natsumi

写真：藤嶋友心



1993年愛知県生まれ。2023年女子美術大学大学院美術研究科博士後期課程 美術専攻美術研究領域（洋画）修了。身の周りにある物理的な力や物事の成り立ちといったあらゆる関係性に対して観察をし自身の想像力を折り込むことで、科学的または考古学的視点からは異なる視点から物語を編み直すことを油彩や構造物を制作することで試みています。

AIR_Group & Family

渡辺 望

WATANABE Nozomi



女子美術大学で修士号を取得後、多摩美術大学大学院、UCA芸術大学（英国）にて修士号を取得。作品の多くは周囲の環境から壮大な宇宙空間を連想するようデザインされており、インスタレーション、映像、写真、書籍から大規模なプロジェクト作品までメディアを横断しながら活動を展開。近年は滞在制作を機に、人々と共に構築する作品のあり方を探求している。

AIR_Youth

下浦 萌香

SHIMOURA Moeka



ある場所に根ざした歴史や記憶、日々の営みのなかで形づくられてきた関係性に関心を持ち、それらの蓄積と自身の制作とを交差させるかたちで実践を行う。2021年より大阪府藤井寺市・土師ノ里エリアにて、アーティスト・ラン・スペース「テラハジリ」の運営を開始。滞在制作や地域との協働、リサーチ、対話を通じて、芸術が日常のなかで息づく在り方を探っている。

かつらお企画室

近 あづき

KON Aduki



生家が洋服教室だったことで糸や布がある環境で育ち、編み物の技法を用いて立体インスタレーション作品を制作。また、国内外のコレクションブランドを中心にニット製品の制作、メディアへの衣装、技術協力を行っている。横浜にて、黄金町芸術学校あみもの教室を主宰するほか、手芸技法を用いたワークショップを行なっている。

かつらお企画室

須藤 圭太

SUTO Keita



陶芸家
1982年 茨城県生まれ。
2008年 東北芸術工科大学 卒業
2010年 京都芸術大学 大学院 修了
2011年 Geneva University of Art and Design 修了

AIR_Summer

くも そらと

KUMO Sorato



1998年兵庫県生まれ。2021年多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻卒業。自分の中から湧き出る好奇心や探究心を追求していく私的なデザインと、新たな土地や人との関わり、そこで出会う未知の素材や技術の中から生まれる対人的なデザイン、という2つの方法を行き来しながら、様々な分野で制作活動をしている。

AIR_Autumn

犬丸 暁

INUMARU Akira

©André Roques



1984年生まれ、茨城県出身。武蔵野美術大学 油絵学科卒業後、2008年渡仏。フランス、ルーアン市の美術大学院を卒業後、現在ルーアンとパリを拠点に活動中。“植物の中に蓄積された光”にフォーカスを当て、作品の一部を太陽光で燃焼するドローイングや光に反応する顔料を使った絵画作品などを通して『手で触られる光、精神を照らす光』を模索している。

AIR_Group & Family

Roaming Baffalo

ローミングバッファロー



映像作家の山下つぼみと北川未来、音楽家の中野徳子、アーティストのサノタコ、小学1年生の丹治賢によるグループ。「故郷」「家」に意識を向けて活動し、それぞれ映像表現や身体性を軸に国内外で活動してきた。今回初めて共同で創作を行う。

AIR_Youth

杉山 仁彦

SUGIYAMA Yoshihiko



2002年愛知県生まれ。名古屋芸術大学大学院修士課程美術研究科在籍。鑑賞者が今を生きている実感を獲得すべく、地域や個人が持っているつまずき、人と人とのコミュニケーション、ライブ感などを手がかりに、陶芸、映像などで構成したインスタレーションを用いて表現を試みている。

かつらお企画室

吉田 麻子

YOHIDA Asako



2000年 長岡造形大学卒業
2012年 アーティストインレジデンス「モケモケコタツビヨリ」(宮城県石巻市・仮設住宅/日和アートセンター)
宮城県にて羊牧場の毛刈りや羊毛加工のサポート開始
2021年 新潟市にアトリエ開設
2024年 東京都新宿区 galleryW@ 神楽坂 WM にて定期的に講習

かつらお企画室

MO'STO / 須藤 智子

MO'STO / SUTO Tomoko



千葉県出身。工業デザイン、陶芸を学んだのち、現在は茨城県で作陶。2014年よりMO'STO（モスト）としての活動も開始。世界との媒介である身体やことばを題材にした作品を制作。

AIR_Summer

丹治 りえ

TANJI Rie



福島県生まれ、沖縄を拠点に活動。2009年沖縄県立芸術大学大学院彫刻専攻修了。建造物の中の日常空間をモチーフに、建築資材や日用品など身近にある素材を用い、仮設的な構造物を制作。同時に社会的な力学によって生まれる構造とともにその影で見過ごされてしまう個人的な出来事に関心を寄せ、モノや場に対する人間の感覚を揺さぶる作品を展開している。

AIR_Autumn

かねこもえ

KANEKO Moe

Photo: Hirofumi Nakamoto



2003年生まれ。大阪府出身。東京藝術大学 絵画科油画専攻学部4年在学中。私たち人間が生き物として、生き、作品を作るという事を見つめながら、動物をモチーフに立体作品やインスタレーションを制作。

AIR_Youth

齊藤 美帆

SAITO Miho



2001年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学 彫刻学科 修士課程在学中。FRPをはじめとする工業的な素材を用いながら、特定の用途のために生産されたものを彷彿とさせるような立体作品を制作する。物体の認識に対する疑問を投げかけ、「日々見てきたものの正体」を再考することを試みている。

AIR_Youth

松本 実季

MATSUMOTO Miki



2003年 神奈川県生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース卒業。日々の個人的で些細な出来事や感情を記録しながら、一見遠くに思える場所や他者とのつながりについて考えている。変化し続ける思考や感情をメモに残し、言葉の断片を掬い取りながら写真や音、布、糸、ドローイングなど複数の素材を用いて作品を制作している。

かつらお企画室

三保谷 泰輔 / 三保谷 未柚

MIHOYA Taisuke / MIHOYA Miyu



伏見屋ガラス店
1914年（大正三年）創業。時代ごとに様々なガラスを扱いながら、現在の4代目から「今あるものを生かす」をコンセプトに昭和のガラスを使った作品製作を行う。

かつらお企画室

片岡 美菜

KATAOKA Mina



1989年 東京都生まれ。神奈川県育ち。西会津町在住。専門学校桑沢デザイン研究所 総合デザイン学科卒業。2020年やまみ 鞆製作所を設立。2024年から会津の自然や文化から得た素材の商品を扱うバッグブランド ZICA（ジカ）を立ち上げる。

かつらお企画室

遠藤 英徳

ENDO Hidenori 葛尾村民

福島県葛尾村について

葛尾村（かつらおむら）は、福島県の東側に位置し双葉郡に属している小さな村です。古くは馬産や木炭生産などが、現在は農業や畜産が主要な産業となっています。2011年の原子力災害により全村避難を余儀なくされ、現在は帰村者と震災後の転入者が村内で暮らしています。2025年4月時点で、人口1,226人（居住人口468人）です。

Katsurao AIR Summer / Autumn

村外からアーティスト・クリエイターを一定期間招聘し、滞在中の活動を支援するアーティスト・イン・レジデンス（AIR）プログラムです。

Group & Family Program

単身での参加が難しいグループや家族連れのアーティスト・クリエイターを対象とした、レジデンスを一棟貸しするスタイルのアーティスト・イン・レジデンス（AIR）プログラムです。

Youth Program

高等教育機関(大学等)に在学中であるか、または卒業(修了)後5年以内の若手アーティスト・クリエイターを対象としたアーティスト・イン・レジデンス（AIR）プログラムです。

かつらお 企画室

「葛尾村の日常の中にある魅力」をアーティストやクリエイターの視点から再発見するワークショップ企画です。葛尾村立葛尾中学校 休校中校舎1階2年生教室（かつらお企画室）を拠点に実施しています。

note, Podcast 配信中!



スキコム

by KATSURAO COLLECTIVE

福島県双葉郡葛尾（かつらお）村でのアート活動の様様を、アーティストインタビュー等を通してお届けするメディアです。メディアプラットフォーム「note」および「Spotify」「YouTube」等の各種リスニングサービスにて発信しています。

WORKSPACE HATAKE

葛尾村立葛尾中学校 休校中校舎3階コンピューター室をワークスペースとして整備しています。

カツラオコレクティブ

